

東京都文京区の2024年度認知症検診事業を継続受託
— 2023年度 成果連動型民間委託契約方式において成果指標を達成 —

エーザイ株式会社（本社：東京都、代表執行役 CEO：内藤晴夫）は、このたび、当社が認知症の啓発と早期発見の推進に向けて受託実施している東京都文京区の認知症検診事業（以下、本事業）について、2023年度の予め設定した成果指標を達成し、2024年度も継続実施することをお知らせします。

本事業は、55歳～75歳の5歳毎の節目年齢の文京区民（約12,300人）を対象とした認知症検診です。認知機能のデジタルチェックツール「のう KNOW®」を用いて脳の健康度のチェックを実施し、「のう KNOW」の測定結果や問診を踏まえて、医師からのアドバイスの提供や医療機関での受診勧奨のほか、訪問看護師による支援の紹介や生活習慣改善プログラムへの参加促進をはかるものです。認知症に対する早期の気付きと対応が重要であることから、東京都が認知症検診対象者について従来の70歳以上から50歳以上への拡充を推奨する中で、55歳を対象とする本事業は、自治体による認知症の早期発見に向けた取り組みにおける先進的な事例の一つとなっています。

本事業は、文京区の重点施策として2021年度から実施され、当社は本事業を初年度から受託し、「のう KNOW」の提供や集団検診の運営支援等を行ってきました。2022年度には、成果連動型民間委託契約方式（PFS）が導入され、「のう KNOW」実施数および生活習慣改善プログラム参加者数を成果指標としてそれぞれ目標が設定されました。当社は「のう KNOW」の体験会実施や、当社が開発した運動プログラム「ブレパサイズ®」の体験機会提供などにより、2022年度に続き2023年度も両成果指標を達成しました。

● 2023年度 PFS 成果指標実績

成果指標	目標	実績	目標達成率
I 「のう KNOW」実施数	1,131名	1,229名	109%
II 生活習慣改善プログラムの平均参加者数	41名	43名	105%

また、2023年度は、245名が会場での検診に参加し、そのうち約12%が医療機関受診勧奨に繋がりました。検診後に実施したアンケートでは、回答者（122名）のうち52%の方が「認知症に対して以前より前向きに考えられるようになった」と回答し、68%の方が「脳や健康についての関心が高まった」と回答しました。

当社は、全国各地の自治体や医師会等と共に認知症関連事業を協業し、地域の課題に合わせた脳の健康度測定のお機提供や、その後の医療や支援への導線確立に係る取り組みを行っています。2023年度には60の自治体でこれらの取り組みを推進しました。今後も、地域住民の皆様が健康な状態から脳の健康度を意識・チェックし、認知症の早期発見・診断・備えが可能となるまちづくりに貢献し、認知症当事者様が自分らしく生活できる「認知症と共生する社会」の実現をめざしてまいります。

以上

参考資料

1. 「のう KNOW」について

「のう KNOW」（非医療機器）は、パソコン、タブレット端末またはスマートフォンを用いた簡便なトランプトによって、脳の反応速度、注意力、視覚学習および記憶力をチェックすることができるツールです。利用者が単独かつ短時間（約15分）でチェックすることができ、日常生活や健診等において、定期的なセルフチェックが可能です。これまでに多数の健診機関・研究機関・自治体・企業・大学で導入されています。

詳細は、<https://nouknow.jp/>をご覧ください。（導入先一覧 <https://nouknow.jp/partner/>）

2. 成果連動型民間委託契約方式について

成果連動型民間委託契約方式（Pay For Success: PFS）とは、自治体等が民間業者等に委託する事業において、解決をめざす行政課題に対応した成果指標を設定し、その支払額を第三者が評価した当該成果指標の改善状況に連動させるという新たな官民連携の手法です。内閣府の推進施策であり、これにより公共サービスの質向上、支出の削減等が期待されています。

3. 「ブレパサイズ」について

「ブレパサイズ」は、音楽に合わせて手足を動かしながら、さらに知的課題の実践を盛り込んだ、体と脳を活性化するデュアルタスクの運動プログラムです。当社が医師の監修のもと、脳の健康が気になる方々が、気軽に楽しく始められる運動入門編と位置づけて開発しました。自治体の健康教室やオンラインイベント等で活用されています。

詳細は、エーザイグループのTheoria technologies 株式会社が運営する認知症情報サイト「相談 e-65」をご覧ください。（https://soudan-e65.com/maintenance/brain_exercise/）